

(7) 土 木 費

事業名	県道新設改良事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	08	土木費	
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	国県事業推進係		項	02	道路橋梁費	
	〔建設政策課	国県事業推進係〕					
事業費		3,750,000円	事業の目的・目標	目	04	道路新設改良費	
財源内訳	国庫支出金	円					生活圏の拡大と市民の利便性の向上を図るため、地域の幹線道路である県道の整備を推進する。
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	3,750,000円					

施策の内容、実績、及び効果

県が実施する県道改良工事について、負担金を支払う。

令和元年度

- ・主要地方道 田所国府線県単道路整備事業 整備工事1式、計画検討業務1式
- ・一般県道 あけぼの通り線県単街路事業 舗装工1式、付属施設工1式

路線名	箇所	内容	事業費 (円)	負担率	負担額 (円)
主要地方道 田所国府線	有福温泉町	県単	20,000,000	15/100	3,000,000
一般県道あけぼの通り線	江津町	都市関連	5,000,000	15/100	750,000
合 計			25,000,000		3,750,000

県道新設改良事業費 負担金

県道田所国府線
舗装工 1式 付帯工 1式

県道あけぼの通り線
付帯施設工 1式 工損調査 1式



事業名	橋梁長寿命化事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 [R2部署]	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	(土木建設課	建設工務係)		目	05	公共道路事業費
事業費		31,769,760 円	事業の目的・目標	「江津市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、5年に1度の定期点検を実施するとともに、点検により損傷が確認された橋梁について順次補修することで、市道橋の長寿命化を図る。		
財源内訳	国庫支出金	13,117,587 円				
	県支出金	円				
	地方債	16,300,000 円				
	その他	円				
	一般財源	2,352,173 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

●橋梁補修工事

- 市道鹿賀松ヶ崎線（鹿賀大橋）
- 市道川戸原線（志谷橋）
- 市道江津敬川海岸線（水尻洋橋）
- 市道嘉久志久保川線（土床橋）
- 市道千金濁畑線（千金橋）

●橋梁定期点検業務

- 53橋（うち4橋コンサルタント委託）

●橋梁補修工事設計書作成業務

単位：円

区分	R1決算額	R2繰越額	合計	備考
委託料	1,180,300	0	1,180,300	橋梁定期点検業務
委託料	1,111,320	0	1,111,320	橋梁補修工事設計書作成業務
工事請負費	25,758,262	50,872,018	76,630,280	
補償費	0	2,000,000	2,000,000	
事務費	3,719,878	266,982	3,986,860	人件費、旅費、庁費
合計	31,769,760	53,139,000	84,908,760	

※事務費は補助対象外

令和元年度橋梁点検状況

- 健全度 I 39橋
健全（補修の必要なし）
- 健全度 II 9橋
経過観察段階（軽微な損傷はあるが、構造物の機能に障害は無い）
- 健全度 III 5橋
早期措置段階（損傷が見られ、補修を行う必要がある）
- 健全度 IV 0橋
緊急措置段階（構造物の機能に障害があるため、緊急に対策を行う必要がある）

事業名	橋梁長寿命化事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	〔土木建設課	建設工務係〕		目	05	公共道路事業費
事業費		17,721,558円	事業の目的・目標	「江津市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、5年に1度の定期点検を実施するとともに、点検により損傷が確認された橋梁について順次補修することで、市道橋の長寿命化を図る。		
財源内訳	国庫支出金	10,526,605円				
	県支出金	円				
	地方債	6,000,000円				
	その他	1,194,953円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

●橋梁補修工事

市道黒松海岸線（倉谷新橋）

市道黒松学校線（学校橋）

単位：円

区 分	H30支出額	R1決算額	合計	備 考
委 託 料	9,856,209	0	9,856,209	
工 事 請 負 費	28,422,240	17,721,558	46,143,798	
事 務 費	2,069,175	0	2,069,175	
合 計	40,347,624	17,721,558	58,069,182	

※事務費は補助対象外

着工前

竣 工



市道黒松学校線（学校橋）

事業名	通学路整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	〔土木建設課	建設工務係〕		目	05	公共道路事業費
事業費		72,762,637円	事業の目的・目標	平成26年度に策定した「江津市通学路交通安全プログラム」により、安全確保のための対策を実施し、通学児童の安全確保を図る。		
財源内訳	国庫支出金	37,439,226円				
	県支出金	円				
	地方債	34,300,000円				
	その他	円				
	一般財源	1,023,411円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

- 市道都野津神村線道路改良工事
歩道撤去、路側帯のカラー舗装 L = 155m
- 市道浅利黒松線側溝改良工事
側溝改良 L = 177m
- 市道先折居住宅線側溝改良工事
側溝改良 L = 168m
- 市道星島線道路改良工事
歩道撤去、路側帯のカラー舗装 L = 98m
- 市道都野津敬川中央線交差点改良工事
側溝工 L = 24m
- 安全対策工事（江津敬川海岸線）
ブロック舗装 A = 86m²
- 星島踏切道拡幅工事委託
- 市道神主敬川堺線（堺踏切）改良工事測量設計業務

市道要対策報告箇所	124箇所
累計対策済み箇所	70箇所 (56%)

単位：円

区分	R1決算額	R2繰越額	合計	備考
委託料	30,020,000	34,572,000	64,592,000	
工事請負費	32,834,000	54,574,000	87,408,000	
補償費	2,542,200	5,457,800	8,000,000	物件移転補償費
事務費	7,366,437	528,343	7,894,780	人件費、庁費
合計	72,762,637	95,132,143	167,894,780	

※事務費は補助対象外

着工前



施工中(繰越)



市道先折居住宅線側溝改良工事

事業名	通学路整備事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	土木建設課	建設工務係		目	05	公共道路事業費
事業費		52,589,368 円	事業の目的・目標	平成26年度に策定した「江津市通学路交通安全プログラム」により、安全確保のための対策を実施し、通学児童の安全確保を図る。		
財源内訳	国庫支出金	31,162,504 円				
	県支出金	円				
	地方債	19,800,000 円				
	その他	1,626,864 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

- 市道都野津神村線道路改良工事
工事延長 L = 167 m、側溝工 L = 253 m
路側帯のカラー舗装 A = 296 m²、
- 市道水尻川2号線ほか道路改良工事
工事延長 L = 429 m、側溝工 L = 830 m
- 市道ウナギ谷線側溝改良工事
側溝改良 L = 53 m
- 交通安全対策工事（江津地区）
ブロック舗装 A = 58 m²、区画線工 L = 3,750 m

単位：円

区分	H30支出額	R1決算額	合計	備考
委託料	13,628,520	0	13,628,520	
工事請負費	27,820,000	52,047,220	79,867,220	
用地費	6,089,355	0	6,089,355	
補償費	0	424,000	424,000	物件移転補償費
事務費	4,614,396	118,148	4,732,544	庁費
合計	52,152,271	52,589,368	104,741,639	

※事務費は補助対象外

着工前



竣工



市道都野津神村線道路改良工事

事業名	田の原3号線道路改良事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 [R2部署]	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	(土木建設課	建設工務係)		目	05	公共道路事業費
事業費		7,302,199円	事業の目的・目標	川平地区土地利用一体型水防災事業に伴い、再配置(C・Dブロック)地内における区画道路の道路改良事業を実施する。		
財源内訳	国庫支出金	3,537,000円				
	県支出金	円				
	地方債	3,765,000円				
	その他	円				
	一般財源	199円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

●市道田の原3号線道路改良工事

工事延長 L=297m、側溝工 L=503m、路盤工 A=945m²

単位：円

区分	R1決算額	R2繰越額	合計	備考
工事請負費	6,550,000	12,450,000	19,000,000	
事務費	752,199	196,865	949,064	人件費、庁費
合計	7,302,199	12,646,865	19,949,064	

※事務費は補助対象外

令和元年度工事区間



事業名	道路ストック修繕事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	〔土木建設課	建設工務係〕		目	05	公共道路事業費
事業費		14,999,600 円	事業の目的・目標	江津市道の道路ストック（法面、道路付属物等）について、第三者被害の防止、施設の長寿命化を図るため、道路ストック総点検の結果をもとに補修を行う。		
財源内訳	国庫支出金	8,099,784 円				
	県支出金	円				
	地方債	6,200,000 円				
	その他	699,816 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

- 市道上津井線擁壁補修工事
工事延長 L=20m、ブロック積工 A=63m²
- 市道上津井線路肩補修工事
工事延長 L=52m、ブロック積工 A=121m²

単位：円

区分	H30支出額	R1決算額	合計	備考
工事請負費	0	14,999,600	14,999,600	
合計	0	14,999,600	14,999,600	

着工前



竣工



市道上津井線擁壁補修工事

事業名	落石対策事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	道路河川係		項	02	道路橋梁費
	〔土木建設課	建設工務係〕		目	05	公共道路事業費
事業費		35,055,900 円	事業の目的・目標	平成8年度に実施した道路防災総点検の危険箇所及び落石が頻繁に発生している箇所について安定度調査を行い、調査結果をもとに災害防除工事を行う。		
財源内訳	国庫支出金	18,904,638 円				
	県支出金	円				
	地方債	6,200,000 円				
	その他	9,951,262 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

●江津市道路防災点検(安定度調査)業務

19路線 55箇所

●災害防除工事測量設計業務

1路線 3箇所

単位：円

区分	H30支出額	R1決算額	合計	備考
委託料	0	35,055,900	35,055,900	
合計	0	35,055,900	35,055,900	

安定度調査結果

対象項目 結果	落石・崩壊	岩盤崩壊	合計
要対策	26箇所	5箇所	31箇所
監視強化	20箇所	1箇所	21箇所
対策済	2箇所	1箇所	3箇所
合計	48箇所	7箇所	55箇所

要対策	災害に至る可能性のある要因が認められる箇所
監視強化	将来的には対策が必要となる場合が想定されるが、当面「防災カルテ」による監視等で管理していく箇所
対策済	対策が実施された箇所

事業名	波積ダム建設促進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	国県事業推進係		項	03	河川費
	〔建設政策課	国県事業推進係〕		目	01	河川総務費
事業費		4,394,950円	事業の目的・目標	ダム事業と共に地元地域の活性化を図る施設を整備する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	4,394,950円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

波積ダム建設に伴う、地域整備協定に基づく施設整備等を行う。

令和元年度

- ・波積地域コミュニティ交流センターグラウンド整備工事
グラウンド整地工 A=1,600㎡、付属施設工1式

予算科目	施工箇所	R1決算額(円)	備考
委託料	波積町本郷	299,750	施設管理業務委託、施設修繕
工事請負費	波積町本郷	3,995,200	波積地域コミュニティ交流センターグラウンド整備工事
負担金及び負担金補助	波積町本郷	100,000	波積町ダム対策協議会補助金
合計		4,394,950	

令和元年度 波積地域コミュニティ交流センターグラウンド整備工事
グラウンド整地工 A=1,600㎡ 附帯工 1式



事業名	波積ダム建設事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	国県事業推進係		項	03	河川費
	〔建設政策課	国県事業推進係〕		目	01	河川総務費
事業費		10,393,000 円	事業の目的・目標	波積ダム建設事業に伴い、水没する林道を付け替える必要があり、森林施業に必要なインフラを回復するため、付替え林道を開設するための事業である。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	10,300,000 円				
	その他	円				
	一般財源	93,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

県が実施する付替え林道工事に対する、負担金を支払う。

令和元年度

- ・付替え左岸林道 土工1式、橋梁工1式、法面工1式

路線名	箇所	内容	事業費 (円)	負担率 年度間 協定額	負担額 (円)
付替え左岸林道 (橋梁含む)	波積町本郷	改良	55,821,324		10,393,000
合 計			55,821,324		10,393,000

付替え林道負担金

付替え左岸林道
付帯施設工 1式



付替え林道岩瀧寺線
橋梁付帯工 1式



事業名	県河川浄化対策事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 [R2部署]	土木建設課	道路河川係		項	03	河川費
	(土木建設課	維持工務係)		目	02	河川維持費
事業費		6,499,440 円	事業の目的・目標	県が管理する河川において、草木等の伐採を行い、河川環境の改善を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	3,249,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	3,250,440 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

施工河川

八戸川、新川、水尻川、敬川、北川、東川、長良川、奥谷川

施工内容

河川除草工 A = 49,580 m²

伐木処分等 A = 501 m²

単位：円

区分	R1決算額	備考
委託料	6,499,440	
合計	6,499,440	

着工前



竣工



県河川浄化事業（八戸川）

事業名	土地利用一体型水防災事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	国県事業推進係		項	03	河川費
	〔建設政策課	国県事業推進係〕		目	03	河川改良費
事業費		19,552,716 円	事業の目的・目標	これまで、一級河川江の川の増水により、幾度となく川平地区が冠水して被害をもたらしている。国交省・関係する地権者・推進協議会と協議を行い、JR三江線川平駅より、下流区域（C・Dブロック）の合意が得られた事から、国交省と江津市が一体となって行う。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	18,835,000 円				
	その他	円				
	一般財源	717,716 円				

施策の内容、実績、及び効果

旧川平駅前より下流地域の堤防及び宅地嵩上げ
令和元年度

- ・国交省アロケ工事負担金、急傾斜地崩壊対策事業負担金、用地取得1式

区分	R1決算額（円）	R2繰越額（円）	備考
事務費	164,032	0	旅費、役務費、需用費等
公有財産費 購入費	2,991,624	0	用地取得費
負担金	16,397,060	17,386,380	現年：急傾斜負担金、国交省負担金 繰越：国交省負担金
合計	19,552,716	17,386,380	

令和元年度 川平地区土地利用一体型水防災事業
国交省アロケ工事負担金 宅地盛土1式・急傾斜地崩壊対策事業負担金 法面工1式



事業名	土地利用一体型水防災事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	国県事業推進係		項	03	河川費
	〔建設政策課	国県事業推進係〕		目	03	河川改良費
事業費		24,199,560円	事業の目的・目標	これまで、一級河川江の川の増水により、幾度となく川平地区が冠水して被害をもたらしている。国交省・関係する地権者・推進協議会と協議を行い、JR三江線川平駅より、下流区域（C・Dブロック）の合意が得られた事から、国交省と江津市が一体となって行う。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	24,100,000円				
	その他	99,560円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

旧川平駅前より下流地域の堤防及び宅地嵩上げ
令和元年度

- ・国交省アロケ工事負担金、急傾斜地崩壊対策事業負担金、用地取得1式

区分	H30支出済額（円）	R1決算額（円）	備考
負担金	0	24,199,560	国交省アロケ工事負担金
合計	0	24,199,560	

平成30年度川平地区土地利用一体型水防災事業
国交省アロケ工事負担金 宅地盛土1式



事業名	都市防災総合推進事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	都市計画係		項	05	都市計画費
	〔建設政策課	建設企画係〕		目	01	都市計画総務費
事業費		4,928,000円	事業の目的・目標	平成25年8月23日からの大雨及び平成30年7月の西日本豪雨により被災した桜江町川越地区において、これら2つの災害を教訓としたまちづくり及び地域活力の早期復興に向けた事業等を検討するため、復興まちづくり計画を策定する。 また、旧川越小学校校舎を解体・撤去したのち地盤を嵩上げ、進入路、広場、駐車場及び避難所兼地域交流施設の整備を行う。		
財源内訳	国庫支出金	2,464,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	2,464,000円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 事業期間：平成30年度～ 令和4年度(5年間) 【進捗率：2%】
- 概算事業費：244,700千円（国庫補助対象額、事務費除く）
- 令和元年度（平成30年度繰越）：川越地区復興まちづくり計画策定業務 N=1式

（様式6）現況図 等



事業名	地域景観形成促進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	都市計画係		項	05	都市計画費
	〔建設政策課	建設企画係〕		目	01	都市計画総務費
事業費		6,098,116円	事業の目的・目標	本市の特徴ある赤瓦景観を活かしたまちづくりを推進していくため、赤瓦に対する意識の向上を図り、活力に満ちた景観まちづくりの展開へつなげていくことを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金	1,350,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	2,216,490円				
	一般財源	2,531,626円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 赤瓦の住宅・街なみ絵画コンクールの実施
- 石州赤瓦利用促進事業の実施

単位：円

区分	予算現額	決算額	備考
委託料	2,600,400	2,600,400	
負担金補助及び交付金	3,232,000	3,082,000	
事務費	434,600	415,716	旅費、庁費
合計	6,267,000	6,098,116	

○事業の実績

- 赤瓦の住宅・街なみ絵画コンクールの実施
小中学生と今年度は高校生も対象として実施し、パレットごうつにて作品展示および表彰式を行った。
力作が多く、各々の視点で描かれた作品を通じて赤瓦景観に対する意識の向上を図った。
・応募作品数：119点(小学生93点、中学生9点、高校生17点)
・受賞作品数：26点(小学生14点、中学生5点、高校生7点)
・作品展示：令和2年2月25日から3月7日まで
・表彰式：新型コロナウイルス感染症予防のため中止

- 石州赤瓦利用促進事業の実施
平成16年10月より本事業を開始し、一定規模以上の石州赤瓦を使用する建築物の新增築および屋根替えに対して下記のとおり助成している。

- ・重点地区および重点候補地区
2,000円/㎡ (上限40万円)
- ・赤瓦景観保全地区
1,500円/㎡ (上限30万円)
- ・一般地域
750円/㎡ (上限15万円)

令和元年度は新增築19件、屋根替え9件の合計28件分に対して、3,082,000円の補助金を交付した。



作品展示

事業名	住宅・建築物安全ストック形成事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	建築指導係		項	05	都市計画費
	〔 建築住宅課 指導係 〕			目	01	都市計画総務費
事業費		2,064,200円	事業の目的・目標	住宅・建築物の耐震対策、がけ地近接等の危険住宅の移転対策などの国の補助制度を活用し、住宅や公共建築物の最低限度の安全性確保を図る。		
財源内訳	国庫支出金	1,025,000円				
	県支出金	512,000円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	527,200円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

①住宅・公共建築物の耐震化の促進

・木造住宅耐震化促進事業

昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の一戸建て木造住宅の耐震診断と改修工事に係る費用の一部を助成し、耐震化の促進を図る。

診断費助成：費用2/3以内 上限5万円	工事費助成：費用23/100以内 上限75万円
計画費助成：費用2/3以内 上限40万円	除却費助成：費用23/100以内 上限40万円

・要安全確認計画記載建築物（通行障害既存耐震不適格建築物）耐震化促進事業

島根県建築物耐震改修促進計画に記載した緊急輸送道路等に接する敷地に建築された通行に障害をきたす恐れのある昭和56年5月31日以前に着工された建築物（通行障害既存耐震不適格建築物）の耐震診断と改修工事に係る費用を助成し、耐震化の促進を図る。

※県の指定により対象建築物は令和7年度末までに耐震診断結果を県への報告義務あり

診断費助成：費用5/6以内 m ² 単価上限あり	工事費助成：費用2/3以内 m ² 単価上限あり
-------------------------------------	-------------------------------------

②がけ地近接等の危険住宅の移転

・がけ地近接等危険住宅移転事業

がけ地の崩壊、土石流、なだれ及び地すべりにより、住民の生命に危険を及ぼすおそれのある区域内に建っている危険住宅の除却等に要する経費と安全な場所に移転するため新たに建設する住宅（購入も含まます）に要する経費に対して助成を行い、移転の促進を図る。

除却費：上限975,000円	建築費（要借入）：上限4,650,000円
土地購入費（要借入）：上限2,060,000円	敷地造成費（要借入）：上限608,000円

○事業の実績及び効果

区分	事業名	件数	単価	予算額（円）	件数	決算額（円）	備考
負担金	木造住宅耐震化促進事業			2,500,000		2,051,000	
	耐震診断費助成	3	50,000	150,000	5	250,000	
	耐震補強計画費助成	1	400,000	400,000	0	0	
	耐震改修工事費助成	1	750,000	750,000	0	0	
	解体除却費助成	3	400,000	1,200,000	5	1,801,000	
	要安全確認計画記載建築物耐震化促進事業			0		0	
	耐震診断費助成	0		0	0	0	
	耐震改修工事費助成	0		0	0	0	
	がけ地近接等危険住宅移転事業			0		0	
	除却費	0		0	0	0	
建築費	0		0	0	0		
土地購入費	0		0	0	0		
敷地造成費	0		0	0	0		
事務費	旅費等			20,000		13,200	
合計				2,520,000		2,064,200	

【住宅の耐震化率】 ※H25・H30住宅・土地統計調査結果より算定

	H25年度末	H28年度末（計画改定時推計）	H30年度末
住宅総数	9,780戸	9,443戸	9,550戸
耐震性あり	5,779戸	5,907戸	6,279戸
耐震性なし	4,001戸	3,536戸	3,271戸
耐震化率	59.1%	62.6%	65.8%

事業名	建築確認事務費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 [R2部署]	都市計画課	建築指導係		項	05	都市計画費
	〔 建築住宅課 指導係 〕			目	01	都市計画総務費
事業費		789,414 円	事業の目的・目標	限定特定行政庁を設置し、建築基準法第6条第1項第4号に該当する建築物の建築確認申請審査等の事務処理を行うことにより、事務処理期間の短縮や建築相談等に対する迅速な対応など、住民サービスの向上を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	789,414 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

建築基準法に基づく建築物の確認及び完了検査の申請に対する審査業務などの建築指導行政の一部を処理する。

事務処理を円滑に行うため、台帳・帳簿登録閲覧システムを活用する。また、建築行政連絡会議等の技術的助言や懸案事項の統一の見解の情報・知識を得るため研修会議に参加する。

単位：円

区分	予算現額	決算額	備考
役務費	213,000	205,000	賠償責任保険料
使用料	217,000	208,462	データベースシステム利用料
事務費	383,000	375,952	旅費、需用費、負担金
合計	813,000	789,414	

○事業の実績及び効果

平成31年4月1日～令和2年3月31日受付

・ 建築確認申請件数	53 件	(620,880 円)
・ (計画変更) 件数	10 件	(71,250 円)
・ 完了検査申請件数	48 件	(672,000 円)
・ 許認可申請件数	1 件	(27,200 円)
・ その他申請件数	2 件	(12,000 円)
合計件数	114 件	(1,403,330 円)

事業名	空家対策事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 [R2部署]	都市計画課	建築指導係		項	05	都市計画費
	〔 建築住宅課 指導係 〕			目	01	都市計画総務費
事業費		8,591,950 円	事業の目的・目標	平成27年5月26日「空家等対策の推進に関する特別措置法」が完全施行された。 市民の生命、身体、財産及び生活環境に対する重大な損害の発生防止をため、空家等の発生の予防、適正な管理及び活用を計画的かつ総合的に対策を図る。		
財源内訳	国庫支出金	4,284,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	4,307,950 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

空家特措法が施行され、法に基づく行政事務を行うこととなり、条例制定により関係者の連携・協力によって空家発生の未然防止や適正管理などの総合的な撤去や行政法的対応で良好な住環境を維持する。

- ・江津市空家等の適正管理に関する条例（平成30年4月）制定
- ・空家等実態調査（令和元年度）

単位：円

区分	予算現額	決算額	備考
委託料	8,569,000	8,569,000	空家等実態調査業務
事務費	82,000	22,950	報酬、旅費、需用費、役務費、使用料、負担金等
合計	8,651,000	8,591,950	

○事業の実績及び効果

内訳	件数	備考
現地調査を行った空家等候補建築物	2,749件	
空家と思われる建築物	2,092件	
居住なし	1,215件	
空家の可能性あり	800件	
判定困難・不可	77件	
空家でなかった建築物	657件	
居住あり	657件	
解体済・建物なし	324件	

内訳	件数	備考
危険度判定	2,092件	江津市空家等の適正管理に関する条例施行規則第8条による判定
A 問題なし・一部修繕が必要	1,126件	評点50点未満
B 老朽化が激しい	553件	評点50点以上100点未満
C 危険度が高い	285件	評点100点以上
D 隣接し危険度が高い	128件	評点100点以上かつ隣接との離れが概ね3m未満

事業名	公園施設長寿命化事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	都市計画係		項	05	都市計画費
	〔土木建設課	維持工務係〕		目	02	都市公園管理費
事業費					8,046,000円	事業の目的・目標 江津市都市公園施設長寿命化計画に基づき、江津中央公園施設の更新を行う。
財源内訳	国庫支出金				2,000,000円	
	県支出金				円	
	地方債				6,000,000円	
	その他				円	
	一般財源				46,000円	

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

- 江津中央公園江津市民球場フェンス改修設計業務
- 江津中央公園江津市民球場フェンス改修工事
フェンス改修 L=45.9m
- 江津中央公園江津市民球場防球フェンス設置工事
出入口防球フェンス設置 H=5m、L=13m

単位：円

区分	R1決算額	備考
委託料	648,000	設計委託料
工事請負費	7,398,000	
合計	8,046,000	

フェンス改修工事



防球フェンス設置工事



事業名	都市再生整備計画事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	都市計画係		項	05	都市計画費
	〔建設政策課	建設企画係〕		目	06	市街地整備事業費
事業費		28,368,000円	事業の目的・目標	本整備計画を基に、道路、公園、広場等の都市基盤施設と公営住宅の整備・充実を図ることで、江津市の交流・賑わいを先導し、江津市の玄関口・江津市の顔にふさわしい中心市街地づくりを行う。		
財源内訳	国庫支出金	11,184,000円				
	県支出金	円				
	地方債	16,100,000円				
	その他	円				
	一般財源	1,084,000円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 蛭子北道路整備事業…測量設計業務 N=1式
- 公共駐車場整備事業…測量設計業務 N=1式
- 新庁舎前バス停整備事業…測量設計業務 N=1式
- まちづくり活動推進事業…まちづくり情報発信、屋台作りワークショップ

単位：円

区分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備考
委託料	25,085,500	25,085,500	0	
工事請負費	32,000,000	0	32,000,000	
公有財産購入費	23,240,000	0	23,240,000	
負担金補助及び交付金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	2,282,500	2,282,500	0	旅費、庁費
合計	83,608,000	28,368,000	55,240,000	

まちづくり情報発信



イベント告知

江津駅前市場

「江津万葉の里商店会」主催で2017年12月から毎月第三火曜日に開催している【江津駅前市場】「江津駅前賑わい」に始めた江津駅前市場は丸2年を過ぎ、今では同商店会からの出店だけでなく、市外からの出店や地元音楽家によるライブもあり、江津駅前市場のテーマソングも作られました。

毎年7月と9月は夜の時間帯に開催し、お酒も飲みながら楽しめる一年を通して沢山のの方に来場いただけるイベントとして開催されています。

毎月7月と9月は夜の時間帯に開催し、お酒も飲みながら楽しめる一年を通して沢山のの方に来場いただけるイベントとして開催されています。

まちなか群像

— お店の紹介をお願いします。 —
手織りの作品を展示・販売しています。作品はすべて手づくりです。江津や浜田の作家の作品の委託販売もしています。着き織りのほかに、レースやレジンなどの作品があります。私は趣味で着き織りを15年近くやっています。

— 趣味としての着き織りから、お店で作品を販売販売することの違いはありますか？ —
私自身は高亮というよりも趣味の店だと思ってやっています。商売に關ると「今月はいくつくらい」とか……って納期に迫られることはやらない。あくまで趣味の範囲です。そういう感覚でやっていますが、全部自分の好きなのにつくっていくわけではないんです。知り合いの好みに合わせてつくるので、つくるものすべて自分の好きなのにつくっていくわけではないんです。それは趣味でやっていたころとは違う点ですね。

— 今までは趣味としてやってこられたのですが、値付けは初めての経験は？ —
着き織りの先生が年に1〜2回個展をされるので、そのときに自分の作品も出展させていただきました。そのときは先生の値段を参考にしていたので、自分で考えて値付けをしていくのは正直なところ、この頃の作品は自分で考えて値付けをしていきます。東京の知人の話も聞いてきたときに値段を見て「安すぎる！」と言われましたが、土地によって相場の違いもありません。やはり値付けは悩みます。

— このお店は2019年にポリテッククラジジの生徒さんが卒業実習としてリノベーションしています。2階もありませんが、何か予定はありますか？ —
自分で何か手づくりのものをつくりたいという人が集まることのできる場所になればいいと思います。もともとこーせーごーちゃんを置いて、作業をしつづけていく場所になりたいですね。

— 江津万葉の里商店会に入会されたようですが、いかがですか？ —
入会してすぐ何か変わるわけはありませんが、共同チラシに載せてもらってありがたいですね。今後は各お店のチラシづくりの支援も受けられるみたいなので、利用を検討しています。

新店紹介

中心市街地では2015年4月からの約5年間で19件の新規出店がありました。2019年度に新しくオープンしたお店をご紹介します。

- ながい接骨院**
【業種】 柔道整復業
【営業】 9:00~12:00 / 15:00~19:00
【定休】 土曜午後 / 日曜 / 祝日
【住所】 高久浜町4-10-60
【電話】 (0855) 62-7557
- ボクのワイン キミのワイン**
【業種】 飲食店 (ワインバー)
【営業】 15:00~21:00
【定休】 水曜 / 高亮休業
【住所】 江津町879-5
【電話】 (0855) 52-2177
- A-style**
【業種】 飲食店 (スナック)
【営業】 20:00~24:00
【定休】 日曜 / 第3水曜
【住所】 江津町1517-27 高亮ビル4F
【電話】 080-1944-1068



ごうつ まちなか 通信 No.15 2020 SPRING

江津市中心市街地活性化協議会
http://52chu-katsu.com

TAKE FREE

「お店が増えたらいいけどどのくらい？」
「人通りは(通行車)増えた？」
「住みやすくなった？」
「2018年4月 東口は緑地止」
「2016年8月 OPEN」
「2015年12月 OPEN」
「2017年5月 OPEN」
「2020年3月 完成予定！」

検証 江津市の中心市街地は “どこまで” 活性化したか？

中心市街地活性化・3つの目標指標

江津市中心市街地活性化基本計画(以下、基本計画)は、2015年3月に全国で166番目の内閣府認定計画認定を受け、2019年度で5年目を迎えました。改めて、中心市街地について考えてみます。

基本計画では、江津市の中心市街地を上田の約79haに設定しています。市内のほかの地区にはない施設や多様な業種のお店が無数に立ち立っているのが中心市街地です。

中心市街地の状況ですが、基本計画認定段階では、中心市街地に住む人口の減少、商店主や事業主の高齢化、江津市以外への消費支出など、活力が低下していました。そうした状況から6年間、中心市街地を活性化するための様々な取り組みが行われました。果たしてどこまで活性化したのでしょうか。基本計画に掲げた3つの目標指標がどのように変化してきたか、見てみましょう。

事業名	狭あい道路拡幅整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	建築指導係		項	05	都市計画費
	〔 建築住宅課 指導係 〕			目	06	市街地整備事業費
事業費			1,526,272 円			住宅・建築物が新增築などの建築行為を行う際には、敷地が接道する幅員4m未満の狭あいな道路について、建築基準法の規定により4mとなるよう後退しなければ建築することができない。 そこで安全で良好な市街地・住環境を形成することを目的とし、建築行為に伴う市道の後退部分を対象に、コンクリート舗装等を行う。
財源内訳	国庫支出金		741,000 円			
	県支出金		円			
	地方債		円			
	その他		円			
	一般財源		785,272 円			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

【根拠法令（建築基準法）】

建築敷地は4m以上の道路に2m以上接しなければならず、4m未満の道路にしか接していない敷地は、原則建て替えることができない。（法第42条、第43条）

しかし、建築物が立ち並んでいる幅員4m未満の道路沿いにある敷地については、建築時に既存道路の中心線から2m後退した線を道路境界線とみなすことで建築可能にする救済規定がある。（法第42条第2項）

その場合、その道路後退用地（後退した線と既存道路の境界線に囲まれた部分）には、建物やこれに附属する門、塀等は建築することができない。（法第44条）

【事業概要】

都市計画区域内の市道認定路線で、幅員4m未満の法第42条第2項の道路における道路後退用地部分を対象に、無償使用承諾いただいた道路後退用地部分の舗装を市が行う。

○事業の実績及び効果

区分	事業名	予算額 (円)	決算額 (円)	施工規模		備考
				延長 (m)	面積 (㎡)	
工事請負費	拡幅舗装工事	1,529,000	1,495,600	95.31	83.85	
	市道波子3号線拡幅舗装工事		421,200	14.21	14.26	
	市道波子14号線拡幅舗装工事		194,400	14.01	14.01	
	市道赤羽根飯田線外拡幅舗装工事		473,000	41.43	29.58	
	下も西線		407,000	25.66	26.00	
需用費	中心鎮購入	32,000	30,672			
合計		1,561,000	1,526,272			

整備前



整備後



事業名	住環境整備事業（東高浜市街地整備事業）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	都市計画係		項	05	都市計画費
	〔建設政策課	建設企画係〕		目	06	市街地整備事業費
事業費		43,755,000 円	事業の目的・目標	東高浜地区は、狭い地域に老朽化した木造住宅等が密集している地区であり、利便性の高い駅前地区にありながら人口減少・高齢化が著しく進行している。この地区の人々が、安全で快適な利便性の高い生活を営むように生活道路、公園、共同住宅の整備を行う。		
財源内訳	国庫支出金	18,219,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	20,100,000 円				
	その他	5,355,000 円				
	一般財源	81,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 市道御幸通線測量設計調査業務N = 1 式
- 用地取得A = 50.40㎡
- 建物補償1件

単位：円

区分	予算現額	決算額		備考
		H30繰越	R 1	
委託料	15,160,140	10,881,140	4,279,000	
用地取得費	1,119,000		1,118,880	
物件移転補償費	26,171,000		26,170,703	
事務費	1,567,860	73,860	1,231,417	旅費、庁費
合計	44,018,000	10,955,000	32,800,000	

建物撤去前



建物撤去後



事業名	住環境整備事業(本町街なみ整備事業)		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 [R2部署]	都市計画課	都市計画係		項	05	都市計画費
	[建設政策課	建設企画係]		目	06	市街地整備事業費
事業費		584,000円	事業の目的・目標	江津本町地区の歴史や文化を活かしながら良好な住環境を整備し、地区の活性化と定住促進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	292,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	292,000円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●住宅修景助成

平成19年度に定めた「江津本町地区街なみ環境整備事業補助金交付要綱」に基づき、地域の特性を活かした街なみ景観の向上に取り組むこととしている。

●修景対象範囲

- ・外壁
- ・軒、庇
- ・建具
- ・玄関ポーチ

○事業の実績

●住宅修景助成

令和元年度は要綱に基づく修景整備基準に適合した下記1物件に対し、補助金を交付した。

壁化粧桧板張り



壁化粧桧板張り



事業名	住宅管理事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課	施設管理係		項	06	住宅費
	〔 建築住宅課	住宅係 〕		目	01	住宅管理費
事業費		62,666,530 円	事業の目的・目標	市営住宅等の維持管理に要する経費。住宅管理事業1（経常的な経費）と住宅管理事業2（臨時的な経費）からなる。老朽化した住宅が多いため、住宅管理事業2では、老朽化が進行した住宅（設備）の改修を順次行っている。		
財源内訳	国庫支出金	50,229,000 円				
	県支出金	22,997 円				
	地方債	円				
	その他	12,414,533 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○住宅管理事業1と住宅管理事業2の内訳

事業名	事業費（円）	主なもの	
住宅管理事業1 （経常的な経費）	31,119,648	委託料	21,998,230円
住宅管理事業2 （臨時的な経費）	31,546,882	委託料	1,234,200円
		工事請負費	29,989,300円

○管理代行等の委託に要した経費（住宅管理事業1：委託料21,998,230円のうち）

市営住宅 管理代行業務委託料	18,099,190 円
市営住宅 指定管理業務委託料	2,873,790 円
島根県定住促進住宅管理委託料	1,025,250 円

○実施設計業務委託に要した経費（住宅管理事業2：委託料1,234,200円）

市営住宅浅利曙団地3・4・5号棟外壁改修工事実施設計業務	1,234,200 円
------------------------------	-------------

○住宅補修工事の状況（住宅管理事業2：工事請負費29,989,300円）

公社住宅和田団地下水道接続工事	887,700 円
江津中央団地4号棟EV敷居取替工事	2,860,000 円
市営住宅浅利曙団地3号棟外壁改修工事	26,241,600 円

浅利曙団地3号棟改修前



浅利曙団地3号棟改修後

